

働くことの大切さ 中学生職場体験

市学校教育課 ☎ 62・5090

9月下旬の5日間、市内の中学2年生531人が福津市、宗像市、古賀市の122カ所の事業所の協力により、さまざまな職場で社会人、職業人としての貴重な体験をすることができました。

職場体験学習は、働くことの意義やすばらしさを知り、社会人としての基本的なマナーを学んだり、人と人とのつながりについての理解を深めたりすることを目的に、毎年実施しています。生徒たちは、この体験を通じて、仕事の大変さだけでなく、働くことの喜びや、お客さんへ感謝する心などを学び、自分の将来に向けて考える機会になりました。

「子どもたちが将来の夢に向かって進み、地域社会の発展にもつながるとうれい」などといった感想をもらい、中学生が一生懸命に働いた姿がうかがえました。家庭でも体験談を聞き、将来や進路について話をする機会になったのではないのでしょうか。この体験が、生徒たちにとって勤労観や職業観を広げ、地域の絆を感じ、将来の地域の担い手として、社会人として活躍するきっかけになることを期待しています。

職場体験学習を終えて…

生徒の感想を一部抜粋して紹介します。

お客様の希望に合わせた際の設置や、質問されたときの受け答えの仕方が大切だと感じました。いつも行っているお店の対応は、お店の人がきちんとしてくださっているからだと実感しました。

幼稚園ではけがをさせないような工夫などがあり、園児の安全を第一に考えられていました。言葉づかいや衛生面、責任感、使命感など、先生がたのすごさを感じ、職場体験以前よりもずっと子どもが好きになりました。

「落ち着いて、丁寧に、はやく」ということが身に付きました。また、常に笑顔でいることで1日が楽しく思えました。将来自分の店を持った時に「お客様を一番に考える」ことを忘れずにいたいと思います。

自分が出した商品が次の日に売れていると、とても良い気持ちになりました。仕事で成功したときの気持ちの良さを感じると、人はとても元気になるし、相手も笑顔になれるのかなと考えました。

親への感謝の気持ちはたくさんありますが、この学習をふり返って、私のために自分の時間も削って働いてくれたこと、そして仕事は楽しいことばかりではなく、つらさもあることが分かりました。

看護師やケアワーカーは患者さんのことを一番を考えていて、すてきだと思います。これからは自分よりも相手のことを考え、思いやりや優しさを忘れずに、笑顔でいろいろなことに挑戦していきたいと思います。



「協力いただいた事業所の皆さん、ありがとうございました」

ひだまりの1日

時間	活動内容
8:00~10:00	通室
10:00~10:25	朝の活動 (体操、一日の活動の流れの確認)
10:25~12:15	基本の学習 (☆ひだまりタイム、自学自習)
12:15~13:15	昼食、昼休み
13:15~14:15	午後の活動
14:15~14:30	★読書タイム
14:30~14:45	掃除、ノート記入、帰りの会
14:45	下校

☆ひだまりタイム
読み書き・計算ドリル学習を通して、基礎基本の徹底を図り、自学自習の態度を育てることを目指します。

★読書タイム
午後の活動の後、読書の時間を設けています。



▲子どもたちが一日を過ごす教室

市教育支援センター

「ひだまり」

市教育委員会では「学校に行きたいけど、行けない」小中学生を支援する市教育支援センター「ひだまり」を開設しています。

問い合わせ

市教育支援センター「ひだまり」
津屋崎1-11-3 ☎52-1325
市学校教育課 ☎62-5090

「ひだまり」って
どんなところ

福津市教育支援センター「ひだまり」は、何らかの理由により、学校に行きたくても学校に登校できない状態にある小中学生を支援する、市教育委員会が設置した公的な施設です。一人一人の子どもに応じた指導や体験活動を行うことで、学校への復帰や社

ひだまりの看板

平成17年9月26日に開設した適応指導教室「ひだまり」は、平成31年4月1日から、教育支援センター「ひだまり」に名称を変更しました。それに伴い、制作活動として看板作りを始めました。一学期に材料集めを行い、子どもたちがみんなで少しずつ作業し作り上げたものです。海の近くの学びやにふさわしいきれいな青い看板です。

どんなことをして
過ごしているの

個人のペースに合わせて学習やさまざまな活動を行います。遠足や陶芸などの校外活動、図画工作や家庭科などの制作活動、卓球やバドミントンなどのスポーツも行います。なお、給食がありませんので、弁当が必要です。

どんな人が
利用できるの

市内に住んでいて、何らかの理由で学校に登校できない小中学生が対象です。まずは、通っている学校やひだまりに相談し、ひだまりでの生活を体験してみてください。なお、正式な入室には手続きが必要です。

▶子どもたちが協力し合い作った看板

